

ハタク六十七日臨時手當等、支給アリタル外
問題ハ依然トンテ進境ナシスニ十日、會見
ニ於テ兩課長ハ自次、意ナシト前言ヲ聽シ
誠意、認ムヘキナク罷業、延引ノニ連シ不
平ヲ漏スル、續出ノ虞アリ幹部等ハ組長伍
長、役付職工(約三)ヲシテ同情罷業ナガシ
ムルヲ有利ナリト考フルニ至レリ

斯ク廿六、廿七而日幹部等ハ役付職工、固

室ヲ訪問シ同情罷業ヲ懇請セルニ対シ三十
日組長伍長等八分工場ニ集会シ同情罷業、
同意ニ就キ投票ツ行ヒタルニ一票ノ差ニテ
罷業セサルニ決シ翌三十日之内回答ヲ為シ
未レリ嘗事團ハ役付職工、罷業セサルヲ不可
解コト、レ再三ニシ難詰セルモ遂ニ其ノ目的
ヲ達スル能ハサリキ

於是演説會ヲ開キ示威行動ニ移リタルニ於